

「夢田んぼ」がつなぐ、鶴巣地域と鶴巣っ子

平成 28 年度 大和町立鶴巣小学校

本校では、総合的な学習の時間に協働教育を活用しながら ESD（持続可能な開発のための教育）を行っています。その 1 つに、5 年生が学習する「米づくりについて学ぼう」があります。この単元は 4 月から 12 月まで、苗見学・もち米の田植え・生育調査・除草・稲刈り・脱穀・収穫祭・地域のお祭りでのもち米販売と継続的に行います。

子供たちが地域の主産業である稲作に、地域の方々と協働して取り組み、育てる・食べる・売るという一連の体験を通して、地域の自然や人々に興味をもち、郷土への愛着が深まり、環境保全に対する意識が高まっています。

5 年生の「夢田んぼ」につながる、本校の総合的な学習の時間は次のようになっています。

- ・3 年生：「田んぼのいきもの調査」を行い、今年度は 15 種類の生き物を確認しました。
- ・4 年生：「川の生き物調べ」を行い、町の「夢と希望と志を語る会」では、「ふるさと鶴巣の自然を守りたい～川の活動とマタナゴ調べの活動を通して～」を発表しました。また、橋の欄干にポスターを掲示するなど、地域に向けた発信を行いました。
- ・5 年生の活動は以下の通りです。

田植え



生育調査



稲刈り



脱穀



収穫祭：餅つき



収穫祭：発表会



平成 12 年度から始まった「夢田んぼ」。PTA や地域の方々の協力を得ながら引き継がれ、平成 17 年度には県のコラボスクール事業推進校に指定され、活動が更に充実しました。今年度は、『「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰』も受けることができました。これからも、ふるさと・鶴巣の自然環境や食文化を地域の方から学びながら、郷土を愛する心を育んでいきたいと考えています。